

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	自治会活動推進事業(南区)			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	南区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名)
					東屋

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	市民の自主的な活動・協働の推進	無
	2	事業開始年度	昭和 51 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本市の本格的な自治会活動は、昭和30年3月の社会教育審議会の答申に基づき、昭和31年に全市的な組織の結成をみた新生活運動に始まり、明るく住みよい安全なまちづくりをめざし、地域コミュニティの醸成を図ってきた。地域コミュニティの醸成は市民協働・市民参加によるまちづくりの推進に大きく寄与するものであることから、本市ではその地域のコミュニティ醸成を幅広く支援している。自治会では防災訓練の実施をはじめ、防犯・福祉活動等を通じて地域のつながりを強め、共助による災害時に強いまちづくりの実現に向け事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体		
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	住民自治の精神にのっとり自主的に自治会活動を推進している団体		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	各地域の自主的な自治会活動を助成することにより、自治会活動のより一層の振興充実と、市民協働による安全で安心な住みよいまちづくりの実現を図る。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	校区自治連合会が加入する全市的な組織である堺市自治連合協議会と連携し、市民協働の立場から安全で安心な住みよいまちづくりに取り組む。 ○堺市自治連合協議会活動(校区自治連合会)補助 本市における自治会活動のより一層の振興充実を図るため補助金を交付。 ○自治会次世代担い手創生事業 自治会が将来にわたって安定的に継続されるよう、次世代の担い手に対し、自治会活動への理解や参加意識の高揚など、次世代の担い手としての人材育成を目的とする自治会の取り組みに対して補助金を交付。 ○認定防犯灯電気料金支援金 地域の防犯対策に多大な効果がある自治会等が設置する防犯灯の電気料金について、安全・安心のまちづくりの推進と、より一層の公助・共助の強化を図るため、自治会等に代わって全額市が負担する。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()			
		堺市自治連合協議会			

Ⅲ. 投入量

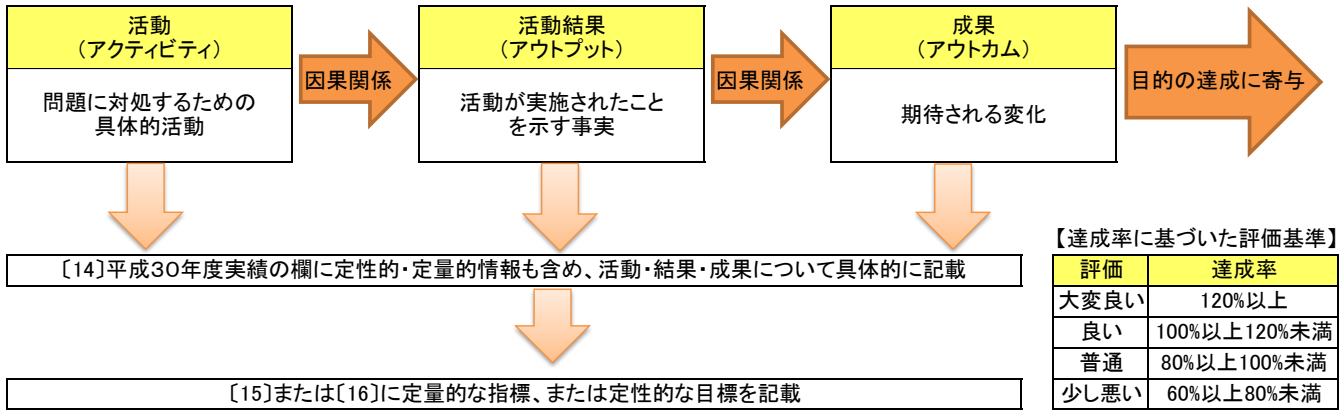
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	37,715	48,411	46,963	56,191	
11 主な事業費内訳	堺市自治連合協議会活動補助金	千円	637	637	637	668
	校区自治連合会活動補助金	千円	20,217	20,106	19,672	21,177
	認定防犯灯電気料金支援金	千円		26,958	26,557	33,119
	自治会次世代育成担い手創生事業補助金	千円		229	37	600
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	37,715	48,411	46,963	56,191	
12 人件費 (b)	千円	8,260	9,900	9,900	9,800	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	45,975	58,311	56,863	65,991	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自治会活動推進事業(南区)	シート番号	215-13
-------	---------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>堺市自治連合協議会及び区自治連合協議会の各種会議を11回開催する等、自治会活動のより一層の活性化を図った。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		自治会活動の推進に資する各種会議の開催回数	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	11	11	11		
			達成率	92%	92%	92%		
	算出方法・設定根拠など		自治会活動の推進に資する各種会議の開催回数(堺市自治連合協議会 役員会・全体定例会)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		自治会加入率	%	目標値	60	60	60	
			実績値	54	54	52		
			達成率	90%	90%	87%		
算出方法・設定根拠など		校区自治連合会に加盟する自治会世帯数/住民基本台帳登録世帯数×100						

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>近年、高齢化の進行をはじめ、治安の悪化、災害の発生に対する不安の増大、青少年、子どもを取り巻く問題の深刻化など、自治会が抱える地域課題は複雑化しており、活動も多岐にわたっている。 市が推進する市民協働・市民参加による安全安心なまちづくりを実現するためにも、自治会活動に対し、より一層の支援を行う必要がある。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。